

平成26年 5月31日発行  
発行 龍ヶ崎市回想法センター  
龍ヶ崎市平台5-9-7  
電話・FAX 0297-65-4443  
e-meil pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp  
h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

# 回想法・体験・6月

## 冷夏が予想されます

### 生き・生き暮らしたい

超急速に高齢化が進み、徘徊や孤独死など、大きな社会問題になっています。方少子化が進み、高齢者を支える若者も不足することが予想されています。

5月12日、龍ヶ崎市長との「かたらい広場」でも、



親を、連れ合いを、壮絶な介護体験をした市民の声を聞いてもらいました。

また「認知症」を理解していな

かったために、連れ合を認知症にしてしまった方から、「認知症を理解していたら、連れ合いもこんなに早く認知症が進まなかったと思う。認知症を学び理解したことで、今からでも遅くないと【妻を見て自分を変える】努力をしていると話し、是非、認知症の理解を深める認知症講座を定期的に関いてほしいとお願いをしてくれました。

認知症は、避けて通ることが出にない問題で、治療薬がまだ見つかっていません。それなら、家族が認知症を理解して、認知症に向き合い付き合っていくことが必要ではないでしょうか。

### 家族・地域の理解が大切

認知症を抱える家族の方々は、いろいろな苦しみ、悩みをお持ちのことでしょう。100人の認知症があれば、100通りの認知症があるように、認知症の症状は違います。認知症の介護には、答えがありません。認知症を抱える家族が孤立しないように、悩めるもの同志が集まり、介護の不安や・苦しみ、そして、楽しいことや、嬉しいことなど、共に学びあえる場があったら、見えてくる希望の光が見つかると思います。

一人で悩まないで、認知症を抱える家族が集まり、辛い胸のうちを分かち合うことで、悩めるもの同士が励ましあい、さまざまな情報を共有し、情報交換をし、認知症に対する施策について、社会や行政への働きかけができるような「心のバリアフリー」実現のために、みんなで考えることができる場が必要です。

障害者になっても、認知症になっても、残された機能を生かし、住み慣れた我が家で、地域で、自分らしく輝いて暮らしたいです。龍ヶ崎市は、子育て日本一を目指していますが、その裏には「高齢者が安心して暮らせる龍ヶ崎」があると信じ、市長自ら入れてくれた挽きたてのコーヒーを頂ながら、市長と有意義な意見交換をさせていただきました。

## 6月の予定

#### 回想ガイド

開催場所 歴史民俗資料館

開催時間 1時30分～3時30分

開催日 3日(火) 田植え 17日(火)

#### おしゃべりサロン

開催場所 龍ヶ崎市役所地下食堂後

開催時間 2時～4時

開催日 9(月)、23(月)